

北海道トレセンU-11 冬季交流大会報告書

期日 2012年2月4～5日

会場 北村土里夢・三笠ドーム

1. 参加選手(17名)

大平 樹人	Rシュペルブ	笠原 龍斗	コンバット
小野寺 辰貴	Rシュペルブ	今野 祥太郎	昭和
伊藤 大貴	SSM	百瀬 瑞季	昭和
小川 一熙	SSM	小林 陸功	朝陽
佐藤 雄大	SSM	館山 透磨	富原
田畑 翔希	SSM	川内 大輝	ドリーム
畠山 椋	SSM	菅原 国照	ドリーム
吉田 柚季	SSM	山田 伸也	ドリーム
福島 龍乃介	オストラ		

* 北北海道エリート参加選手(4名)

西村 晃多	Rシュペルブ	小野 大成	ドリーム
沼澤 秀斗	朝陽	風呂谷 晃平	ドリーム

2. はじめに

例年通り、各地区トレセン、コンサド札幌に加え昨年秋に行われた南・北トレセン強化合宿により選考された選手による南北海道・北北海道の計18チームが参加して大会は行われた。

釧路トレセンU-11としては主に、組織的に狙いを持ってボールを奪うという守備をテーマにトレーニングを行い、U-12・13トレセンの協力でトレーニングマッチを行うことができた。

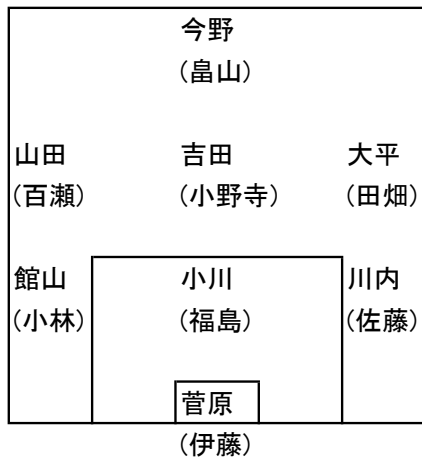
また、試合前日夜のミーティングでは映像を使いこれまで取り組んできた守備の確認と目指すべきサッカーの確認を行い、釧路から世界へ、を合言葉に選手の意識を高めた。

試合でのシステムは3-3-1を基本に臨んだ。

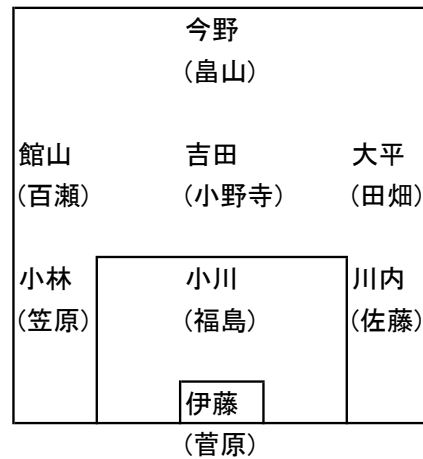
3. 試合結果

4日(土) 13分ハーフ

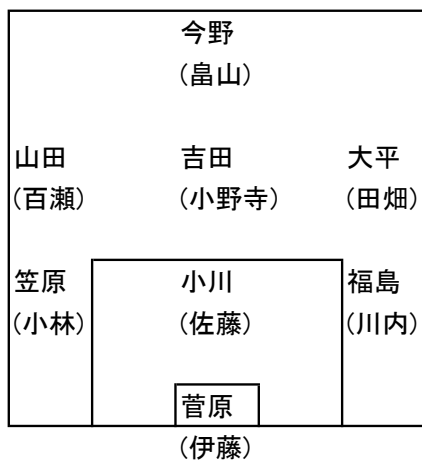
1-2(0-1、1-1) 空知
得点者 畠山



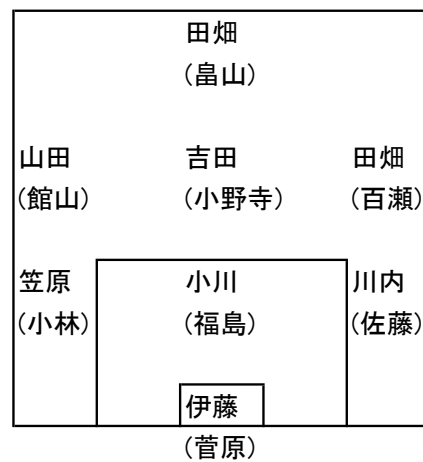
3-1(0-0、3-1) 室蘭
得点者 小野寺、笠原、畠山



0-6(0-4、0-2) 札幌



2-0(1-0、1-0) 根室
得点者 吉田、畠山



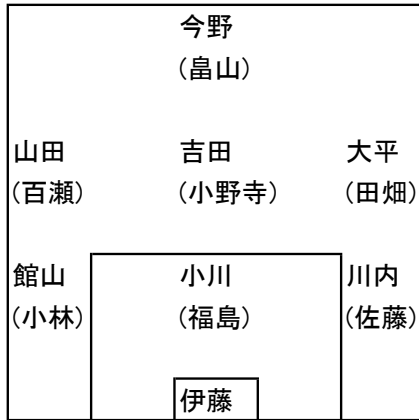
試合当初は全体的にラインが下がり過ぎ、ボールを奪うことができなかったため修正を図り、その後は徐々にボールを奪うことができた。しかし、ボールの移動中の守備のポジション修正が遅く相手に崩される場面も多く見られた。4試合を通して守備の良い時間が半分程度しかなく、逆に良くない時間で失点をしている。集中ができていない時間帯では札幌戦でもほとんどやられていないので最後までやりきるメンタルの面の課題も浮き彫りになった。

攻撃では幅が足りなく、なかなか効果的に相手を崩すことができなかった。また、ボールを持った選手の選択肢も少なくボールを持っていない選手がかかわることも少なかった。攻撃面は多く課題が残った。

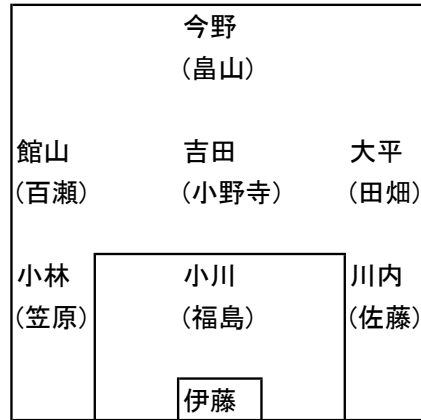
夜のミーティングでは、1日目のゲームの様子をビデオに収め映像を使って全員で課題を確認した。実際に映像を見ることで、選手は良いプレー・良くないプレーがより明確になったようで、ディスカッションでは普段以上に意見が多く出されていた。

5日(日) 12分ハーフ *風邪のため1名が欠場

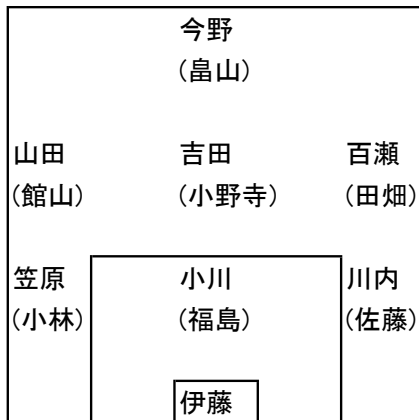
1-1(1-0、0-1) 旭川
得点者 大平



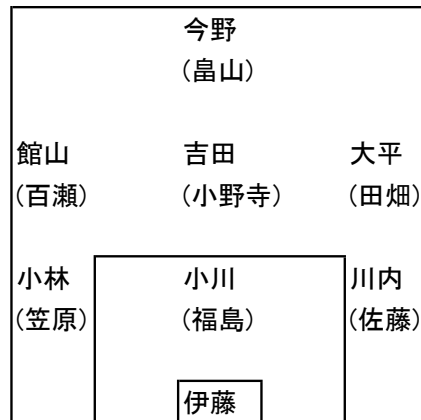
1-1(0-0、1-1) 網走
得点者 畠山



1-1(0-1、1-0) 帯広
得点者 大平



0-1(0-0、0-1) 室蘭



2日目はボールを奪う意識が高まり、1stDFが相手のプレーを限定させてからボールを奪うことが数多くできていた。ただ、判断が良くないため奪ったボールを失うことも多かった。

攻撃面ではボールポゼッションから数多くの決定的チャンスを作ったが、決めきることができずに4試合共試合を優位に進めることは出来たが、4試合共勝てる試合を勝ちきることが出来なかった。

4. 成果と課題

●攻撃

前を向いた時は効果的なドリブル突破が多く見られた。しかし、無謀なドリブルではことごとくボールを失っていた。パスかドリブルかの判断が必要である。また、パス&コントロールの質が低く、特にハイプレッシャーになるとその精度は格段に落ちた。継続的なトレーニングが必要であると感じた。

観るものが少ないため、ボールを持っても選択肢が少なかった。プレーを変える判断・やり直す判断を持つためにも、基本的なテクニックをもっと高める必要がある。

●守備

1stDFのアプローチから狙いを持って2nd・3rdでボールを奪うという意識が確実に高くなった。今後はよりよいポジションを意識しながら1試合を通してやりきることが必要になってくる。

また、サイドチェンジされた時のポジション修正とドリブルのテクニックが高い相手への対応に課題が残った。トレーニングで常に意識させながら課題を克服していきたい。

5. まとめ

2日間を通して、選手のサッカー理解に課題を感じた。様々な状況に応じてやっていいプレーとやってはいけないプレーの判断ができていない選手が多かった。また、なんとなくサッカーをやっている(やらされている?)選手も多く、自ら考えて行動を起こす選手が少なかった。絶対にシュートを決める・絶対に守りきる・絶対に勝つという気持ちがプレーからはあまり伝わってこなかった。結果としてイージーミスからの失点で3位リーグに回ることとなり、勝てた試合も引き分け・負けとなった。

成果としては、守備面で取り組んできたことは選手もよくやってくれた。これをベースに更にメンタル面にも働きかけらならレベルアップを図っていききたいし、選手は日々課題克服に向けて努力してほしい。

文責：釧路U-11トレセンスタッフ 中瀬 満